

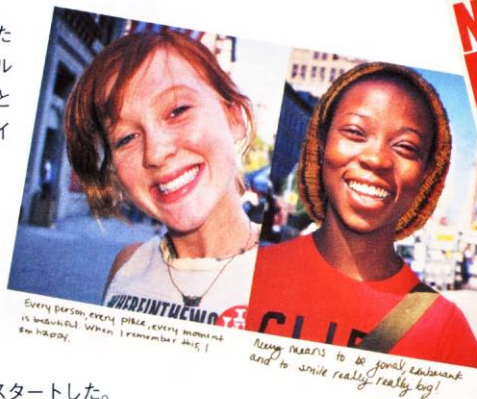
➔ ニューヨークから届いた笑顔とメッセージ 「Merry in New York」が六本木で開催中

アートディレクターの水谷孝次氏が昨年、9・11から1年たったN.Y.を訪問し、9日間で400人に及ぶ人々の笑顔を撮影。それらの写真とメッセージによるアートイベント「Merry in New York」が、2月14日から23日まで六本木「THINK ZONE」(☎03-5770-8777)で開催されている。

「あなたにとってMerryとは?」と問いかけながら、水谷氏自身がシャッターを押し、笑顔とメッセージを集めるアートプロジェクト「Merry」。1999年にスタート以来、原宿の女の子を、大型プリンタを使ってその場でポ

スターに出力したり、ロンドンセルフリッジ百貨店と東京をリアルタイムで結んだり、常に新しいコミュニケーションの形を提示してきた。

そして4年目、また「Merry」の新たな展開がスタートした。まず展覧会に合わせて大判のフリーペーパーを制作。さらに水谷氏が撮影した女の子達の本音トークを掲載するフリーペーパーを、月1回発行していく。Webとの連動やイベント企画、写真展、Book出版につなげていくという。



9.11.02
NEW YORK
MERRY
2.14.03
TOKYO
MERRY
IN NEW YORK

展覧会に合わせて制作したフリーペーパーは、420×310mmオールカラー16ページの大判。ギャラリーに積み上げて展示する他、世界中に配布される。



18:30～25:00まで、写真が床面や壁面にプロジェクターで映し出される。

本音トーク「Merry」創刊!



www.21merry.net

(上) 128.5×128.5mmの八つ折加工した小さなフリーペーパー。月1回10万部を、カフェやショップなど若者の人気スポットに配布。

(右) これまでのMerry Projectで発行された出版物の数々。



「Merry in KOBE 2002」では、神戸市新長田南再開発地区の工事現場の仮囲いに、アルミ板に出力した写真を掲出した。